

2009 年度第 6 回常任理事会議事録

日 時：2010 年 2 月 20 日（土）午後 2 時 30 分～
午後 5 時 30 分

場 所：日本体育大学 5 階会議室

出席者：森下高治理事長，藤田主一副理事長
浮谷秀一，川本利恵子，大坊郁夫，田中真
介，田之内厚三，玉井寛，所正文，内藤哲
雄，藤森立男，向井希宏，蓮花一己（以上
13 名）

欠席者：井上孝代，谷口泰富

事務局：浮谷秀一（事務局長），佐藤恵美（幹事）

I. 報告事項

1. 理事長挨拶

2. 各種委員会報告

(1) 機関誌編集委員会（田中委員長代行，所委員）

- 体調不良により 12 月末で所先生が委員長を
退任し，1 月から田中先生が委員長代行に
なった。
- 次号の機関誌 35 巻第 2 号は，3 月の初旬か
ら 4 月上旬に刊行予定である。
- 4 月からの委員会運営のために，常任理事会
の直前に開催された機関誌編集委員会におい
て以下の 3 点を決めた。

①昨年投稿され，問題となった論文に関して
は，公的機関からデータ使用許可書をもら
うこととする。

②今後は投稿規程に，公的機関からのデータ
使用許可の証明として，公的機関の所属機
関長からのデータ使用の許諾証明書を添付
することを検討する。

③第 3 の査読者をお願いするなど，より良い
査読体制にするために投稿のプロセスを文
章化することを検討していく。

(2) 企画委員会（田之内委員長）

- 12 月の公開シンポジウムのアンケート（参
加者 300 人程度，アンケート回答者 205 人）
をまとめた。
- 次回のシンポジウムを検討中である。
- 第 77 回大会での研修会は，研修会 A は越河
六郎先生（司会：藤田先生），研修会 B は松田

浩平先生（司会：佐藤恵美先生）にお願いす
ることが決定した。

(3) 広報委員会（藤森委員長）

- 新広報誌「応用心理学のクロスロード」は 5
月に刊行される予定である。
- 機関誌編集委員会に「応用心理学のクロス
ロード」へ掲載する記事をお願いした。

(4) 「応用心理士」認定審査委員会（玉井委員長）

- 2009 年度後期申請者を審査する「応用心理
士」認定審査委員会を 1 月 29 日（金）に東京
富士大学会議室にて行い，19 名の申請者の
うち 18 名を合格，1 名を不合格とした。

(5) 国際交流委員会（内藤委員長）

- 2010 年 ICAP のシンポジウムの参加申し込
みに対する許可がまだ来ていない。
- 国際交流委員会に副委員長を置くことなどに
ついて，常任理事会後に委員会を開催して検
討する。

(6) 若手研究者支援委員会（蓮花委員長）

- 委員会を開催していないが，若手を引きつけ
る企画を考えていく予定である。

(7) 学会活性化プロジェクトチーム

（蓮花チーム長）

- 学会活性化のために若手支援や「応用心理
士」に関する件など 10 テーマほどに絞った。
5 月ぐらいにワーキンググループの資料をま
とめて，常任理事会に提出する予定である。

3. 2010 年度第 77 回大会について

（田中大会委員長）

- 3 月に第 1 号大会通信を発送する予定であ
る。ここでは，以下の 3 点を絞り込んで検討
中である。

①大会テーマ（「人を大切にする」ことを中心
にしたテーマにする案，実務家も参加しや
すい大会にする案などを検討中）。

②大会のシステム設定（受付の簡略化など）。

③大会の内容（大会論文集の CD 化，ポス
ター発表の方法など）。

- 大会論文集の CD 化の場合，紙媒体の論文集
と CD を両方出すのか，どちらか一方かにす
るかなど，今後の大会も関係あるので部数や
費用の問題を引き続き検討していく。

4. 日本心理学諸学会連合について

(1) 定例理事会の報告

(森下理事長, 谷口担当常任理事)

- 12月23日, 日本心理学諸学会連合の定例理事会が開催された。ここでは, 各学会の役員選挙方法, 心理学の資格問題などについて話し合われた。

(2) 心理学検定について (藤田副理事長)

- 2009年度の心理学検定は, 申込者 1,712名, 受検者 1,550名 (合格率 56.7%) であった。
- 各大学 20名以上の受検者があれば団体割引が適用されるので, 各先生方にアナウンスをお願いしたい。

5. その他

II. 審議事項

1. 編集委員会に関する件 (森下理事長)

- 機関誌編集委員会委員長は 12月に所先生が体調不良により退任した。1月から田中先生が委員長代行になった。
- 4月からの次期編集委員長は川本先生, 副委員長は深澤伸幸先生になる。
- 元編集委員長 (現副理事長) の藤田先生には, 編集委員会のアドバイザーとして加わってもらうことを検討中である。
- 投稿論文の受付は, 「東京富士大学 深澤伸幸研究室気付 日本応用心理学 編集委員会編集事務局」とすることで調整する。
- このため, 3月31日付の次号 (35巻2号) の投稿論文の送付先は, ホームページ参照とする。

2. 編集に関する件 (所委員)

- A氏については, 3論文のデータ使用許可書が所属長から届いたので, 現在審査を継続中である。
- B氏については, 捜査データなので公的機関の使用許可書が必要であった。なお, 査読者が複数になってしまったこと, データ使用許可書の提出について 1月以降田中委員長代行が依頼したが, 許可書が得られなかったことがあった。結果として本人より論文取り下げとなった。

3. 「応用心理士」認定条件に関する件

(玉井委員長)

- 1月29日に 2009年度後期申請者の認定審査を行ったが, 19名中 3名において十分に認定要件を満たしているとはいえない申請者がいた。このため, 規程第4条1項について, 幅広い領域の方に「応用心理士」を付与するために改正が必要であることが提案された。提案の内容は, 「心理学専攻または心理学に準ずる分野を修了した人」への修正である。9月の総会に提案することが承認された。

4. 「応用心理士」研修会に関する件

(玉井委員長)

- 応用心理士の質を確保するために応用心理士のための研修会を, 第77回大会より研修6部門 (各90分) として開催することが提案された。しかし, 常任理事会では今年度からの実施は難しいとの指摘があり, 手順を踏んで進めることにした。

5. 名誉会員掲載に関する件 (森下理事長)

- 名誉会員として 13名が年齢条件を満たす候補者として挙げられた。次回の常任理事会までに検討をお願いする。

6. 新入会員審査および会員異動に関する件

(浮谷事務局長)

- 入会希望者 12名を審査した結果, 11名を承認した (このうち 7名は 2010年度 4月1日付で新入会員となる)。入会が承認されなかった 1名は, 判断するための資料が足りないことから保留とした。
大坂紘子, 清野圭一, 伊藤彩, 齋藤真美, 片受靖, 森本真由美, 飯島有美子, 引地博之, 坪倉幾久子, 續木智彦, 陶山智 (以上 11名)
- 2010年 2月 15日現在会員数 1,223名である。

7. ホームページの維持管理に関する件

(藤森委員長)

- 田中委員よりホームページ維持管理に関する以下の提案が出された。
①新たな HP 作成に関して, 効率的な運用の必要性が提案された。具体的には, 学生に依頼する場合謝礼を支払う, 外部に HP 作

成を依頼するなど組織的に取り組む体制作りの内容である。今後も HP の更新に関しては予算も考慮しながら検討していく。

8. その他

- 編集委員会より会員名簿に専門分野（6 部門）を記載する提案がなされたが、前年度の常任理事会で決定されていたことを確認した。会員名簿は 4 月ごろに発行する予定である
- 次回の常任理事会は、2010 年 4 月 17 日（土）13 時から東京富士大学にて開催される予定である。

2010 年度第 1 回常任理事会議事録

日 時：2010 年 4 月 17 日（土）午後 1 時 00 分～3 時 30 分

場 所：東京富士大学本館 1 階第 2 会議室

出席者：森下高治理事長、藤田主一副理事長

浮谷秀一、川本利恵子、大坊郁夫、田中真介、田之内厚三、玉井寛、谷口泰富、内藤哲雄、藤森立男、向井希宏（以上 12 名）

欠席者：井上孝代、蓮花一己

事務局：浮谷秀一（事務局長）、佐藤恵美（幹事）

I. 報告事項

1. 理事長挨拶

2. 各種委員会報告

(1) 機関誌編集委員会（川本委員長）

- 本日 10 時半より機関誌編集委員会を行い、これまでの審査状況の確認と 2010 年度からの体制案を検討した（資料参考）。
- 掲載論文の審査結果は 3 年間事務局で保存し、その後編集委員会で処分することとした。
- 機関誌編集業務を補佐する事務局補佐を設置する件については継続審議とした。

(2) 企画委員会（田之内委員長）

- 学会研修会の A、B は前回報告のように決定した。
- 次回の公開シンポジウムの日程は 2010 年 11 月 20 日（土）とし、場所は東京富士大学と日本大学（文理学部または法学部）が候補として挙げられている。当日はシンポジウム

開始前に常任理事会を開催する予定。

(3) 広報委員会（藤森委員長）

- 新広報誌「応用心理学のクロスロード」は 5 月発刊予定であったが、6 月発刊になる。

(4) 「応用心理士」認定審査委員会（玉井委員長）

- 2009 年度後期の認定者 18 名についてはすべての認定事務処理を終えた。
- 2010 年度前期の申請者は現在 1 名である。
- ホームページ上の「応用心理士」認定者一覧について、退会者を削除するなど見直すことにした。

(5) 国際交流委員会（内藤委員長）

- 国際応用心理学会（メルボルン）の大会企画シンポジウムが採択された。7 月 14 日（水）の 10 時半ごろから開始予定である。
- 編集委員長が交代したので、今後は川本委員長に国際交流委員会委員として参加していただくことにした。

(6) 学会活性化プロジェクトチーム

（代理：内藤委員）

- 本日午前中に委員会を開催した。次回の常任理事会で審議事項として提案することにした。

(7) 学会賞選考委員会（藤田委員長）

- 「応用心理学研究」（第 33 巻第 2 号～第 35 巻第 2 号）の 2 年分 6 冊の中から選考する。
- 原著、資料、短報、総説の区別はせずに選考対象とすることにする。
- 理事からの推薦書提出後、学会賞選考委員会で一次審議し、8 月の常任理事会で 2 次審議して決定する予定である。

3. 2010 年度第 77 回大会について

（田中大会委員長）

- 第 77 回大会案内（大会通信）を作成した。最終校正の後発送する予定である。
- 前回常任理事会で決定したように、論文集は CD ではなく、紙媒体とする。
- ポスター発表、ワークショップ、シンポジウムを中心とする。
- 従来との違いとして、研究発表のアブストラクトを 7 月中にホームページに掲載する方法をとる。
- 2 号通信に研修会の内容等を掲載する予定で

ある。研修会原稿は川本編集委員長から依頼する。

- 若手研究者の支援作業が委員の先生方に大きな負担をかけているので、院生に依頼したり時間を限定したりするなど、実施方法を検討する。

4. 日本心理学諸学会連合について

(1) 理事会（谷口担当常任理事）

- 6月に日心連の理事会が予定されているので、詳細を後日常任理事会で報告する。

(2) 心理学検定について（藤田副理事長）

- 受検ガイドを心理学担当の先生方がいる大学へ40部程度を発送する予定である。

5. その他

- 事務局より、学会に寄贈された雑誌・書籍および機関誌のバックナンバーの扱いについて検討依頼があった。検討の結果、今後事務局が移動するたびに移動・保管することは難しいと考えられるので、処分を含めて検討していくことにした。

II. 審議事項

1. 常任理事補充に関する件

（浮谷選挙管理委員長）

- 所常任理事が退任（2010年3月31日付）したため、役員選出選挙規程に基づいて補充作業を進めたが、事前に決定していた候補者がすべて辞退したことが報告された。これらのことを踏まえて審議した結果、補充せずに残りの期間を欠員1名とする提案を承認した。

2. 2010年度予算案に関する件（浮谷事務局長）

- 2010年度の予算案（暫定版）を審議し、承認した。
- 国際応用心理学会メルボルン大会の費用について、審議の結果、参加費については学会が補助することとし、前回と同様の予算（100万円）にすることが承認された。英文特集号の編集作業に関しては、英文特集号関連費用として20万円を計上することにした。
- 総会には2009年度決算書で決定した繰越金に差し替えた2010年度予算案を提案することにした。
- 今後、支出が増加することが予想されるの

で、会員の増加、電子媒体の使用などを検討していくことが提案された。

3. 名誉会員推戴に関する件（森下理事長）

- 前回の常任理事会で提示された名誉会員候補者リストを審議した結果、荻野七重先生を名誉会員に推挙する提案を全会一致で承認した。

4. ホームページ（HP）に関する件（藤森委員長）

- 本学会をより周知してもらうため、他学会のHPと本学会のHPとをリンクすることが提案され、承認された。

5. 新入会員審査および会員異動に関する件

- 新入会希望者25名を審議し、25名全員を承認した。
- 前回保留となった新入会希望者の補足資料を審査した結果、承認しないことにした。
- 退会希望者のなかに会費滞納者が含まれているかを確認して処理することにした。
- 名誉会員の退会希望者については、事務局長から名誉会員に留まるようにお願いする文書を送り、郵便物などを今後郵送しないことにした。

6. その他

- 事務局補佐について、予算的に厳しいので今後検討することにした。

*次回以降の常任理事会日程について

- 第3回常任理事会は、2010年6月12日（土）14時半から京都の同志社大学にて開催予定。
- 第4回常任理事会は、2010年8月6日（金）15時半から東京富士大学にて開催予定。
- 2010年9月10日（金）大会前日に理事会、12日（日）に常任理事会を開催する予定。
- 今年度の公開シンポジウムの日程は2010年11月20日（土）とし、場所は東京富士大学または日本大学（文理学部か法学部）が候補として挙げられた。当日、12時から常任理事会を開催予定。

2010年度第2回常任理事会議事録

日 時：2010年6月12日（土）午後2時30～午後5時00分

場 所：同志社大学 徳照館 1F 会議室

出席者：森下高治理事長 藤田主一副理事長
 浮谷秀一，井上孝代，川本利恵子，大坊郁夫，谷口泰富，玉井寛，内藤哲雄，藤森立男，蓮花一己（以上 11 名）

委任状：田之内厚三

欠席者：田中真介，向井希宏

事務局：浮谷秀一（事務局長）

I. 報告事項

1. 理事長挨拶

2. 各委員会報告

(1) 機関誌編集委員会（川本委員長）

- 投稿された論文を部門ごとに整理できるテンプレートを作成している。
- 投稿論文はそれぞれの部門に依頼している。
- 次号の審査終了掲載論文，現状報告は後日メールにて編集委員に知らせる。
- 77 回大会でのシンポジウムの中から，優れたものを次号に載せる方向で検討する。

(2) 企画委員会（代理：浮谷事務局長）

- 平成 22 年度公開シンポジウムの日程が会場の都合により 11 月 13 日（土）に変更となった。
- 公開シンポジウム開催前に常任理事会を開催する予定である。

(3) 広報委員会（藤森委員長）

- 「応用心理学のクロスロード」が創刊された。
- 2 号は 12 月発行予定であり，発刊に向けて原稿執筆を依頼した。
- 巻頭言は毎号常任理事の持ち回りとし，2 号は藤田副理事長が担当することになった。

(4) 「応用心理士」認定審査委員会（玉井委員長）

- 前期の申請者は現在 2 名であり，持ち回りで審査を行うことにする。
- 応用心理士のホームページ上の認定者一覧については，会員名簿が完成し次第，退会者などを確認し修正する予定である。
- 応用心理士の質向上のため，「応用心理士会」の立ち上げを検討中である。

(5) 国際交流委員会（内藤委員長）

- 第 77 回大会までに特集号の投稿受付などのスケジュールを検討し，ホームページで公開したい。

- 国際応用心理学会に発表したあとで日本応用心理学会に入会した場合も特集号への投稿を認めることにした。

(6) 学会活性化プロジェクトチーム

（蓮花チーム長）

- 学会活性化に向け，ワーキンググループにおいて 3 回の検討会を行った。
- 検討会の内容をもとに学会の現状と問題点，具体的提案などが資料を使って報告された。

(7) 学会賞選考委員会（藤田副理事長）

- 6/5 締切で 36 名の理事に推薦をお願いしており，現在 21 通の返信があった。
- 未返信の理事にはハガキで再度依頼する。
- 次回の常任理事会で推薦候補を提案する。
- 実践活動に関して「該当候補なし」とする先生が多く，この領域の存続の有無も含めて次回の議題としたい。

3. 2010 年度第 77 回大会について

（長崎純子大会事務局長）

- (1) 6/20 に大会発表の申込み締切り予定であるが，発表意志のある方に関しては，その後も柔軟に対応する予定である。

- (2) 現在，シンポジウム 2 件，ワークショップ 6 件，自主企画のワークショップ 2 件が決定している。ワークショップに関しては，まだ枠に余裕があるため，できるだけ受け入れていきたい。

- (3) 今年度の大会ではポスター発表のみとし，また 5 分ずつのショートレクチャーを行うことにした。

- (4) シンポジウム，ワークショップは午前中より開催し，ポスター発表は午後 3 時からの予定である。

- (5) 7 月上旬にアブストラクトをホームページに掲載する予定である。

- (6) プログラムは 7 月下旬に発送予定である。

- (7) 大会論文集は 8 月中旬に発送予定である。

4. 日本心理学諸学会連合について

(1) 定例理事会（谷口担当常任理事）

- 定例理事会は 6 月 20 日（日）に開催予定である。次回常任理事会で報告する。

(2) 心理学検定（藤田副理事長）

- 各大学で力を入れて広報していただけるよう

に依頼があった。

5. その他（浮谷事務局長）

- (1) 会員名簿は現在原稿チェック中である。会計処理上、2010年3月31日付で発行の予定である。
- (2) 独立行政法人日本学術振興会より、育志賞の推薦についての通知文書が届いており、学会としての推薦も可能であることが説明された。

II. 審議事項

1. 学会活性化に関する件（蓮花チーム長）

- (1) ワーキンググループの検討会にて提案された具体案を、各委員会で年度内に検討し、常任理事会で審議することが提案され、承認された。担当は以下のとおりである。
 - 若手支援……………若手研究者支援委員会
 - 他大学との連携……………企画委員会
 - 実務家との連携、「応用心理士」の活性化……………「応用心理士」認定審査委員会
 - 財政基盤……………事務局
 - 国際交流……………国際交流委員会
- (2) 提言を受けて、今年度の第77回大会から「大会発表賞」を設けることが提案され、承認された。
- (3) 「大会発表賞選考委員会」の設置および藤田副理事長の委員長就任が提案され、承認された。
- (4) 若手研究奨励賞、海外発表奨励賞等について、若手研究者支援委員会で検討することになった。
- (5) 機関誌や大会発表論文集をCiNiiのPDFで見られるようにしてはどうかとの提案が、伊藤武彦先生（和光大学）よりなされたことが報告

され、広報委員会で検討することになった。なお、伊藤先生には藤田副理事長より、その旨を連絡することになった。

2. 「応用心理士」に関する件（玉井委員長）

- 応用心理士会の立ち上げに関して、「応用心理士」認定審査委員会で具体的に検討し、次回常任理事会で審議後、第77回大会時の総会で審議する流れで進めることになった。

3. 新入会員審査および会員異動に関する件

（浮谷事務局長）

- 30名の新入会員について審査が行われ、全員承認された。そのうち3名は学生会員である。

（正会員）

上瀬由美子、津田友理香、成田彩乃、千島直樹、渡邊愛祈、青木いづみ、五十嵐博、趙文晴、大久保健一、浜崎英子、沖中武、織田茂裕、竹内謙彰、今野順、島村知秀、麻生典子、岩立志津夫、藤田綾子、武村美幸、尾崎美恵子、那須美奈子、堀良子、益川優子、岸田香織、佐藤敬子、中妻拓也、倉岡理保

（以上27名）

（学生会員）篠原成美、佐藤典子、後藤英梨

（以上3名）

- 6月3日現在の会員数は下記のとおりである。

正会員1,157名、学生会員10名、名誉会員39名、終身会員39名、賛助会員4名

（以上合計1,249名）

※次回の常任理事会は2010年8月6日（金）13:00より東京富士大学にて開催予定